

## 役員所感

副理事長 浦野 学

現在、日本は好景気といえるほどの経済成長は望めず、将来の補償である社会福祉も先行きの不透明な状態となっています。これは我が上越地域においても例外ではありません。地域に根差し「明るい豊かな社会」の実現に向け日々運動しているJCとして、いまこそ組織としての団結力をさらに高め、JCメンバーとして必要な資質を身につけ継承しなければ、地域社会が求める「信頼と負託」に応えることは出来ないのではないのでしょうか。

まずはメンバーが、各々の活動や運動、交流を通じて人柄を理解し、お互いを尊重しながら情報を共有し、時には楽しみ、時には困難と向き合いながら自らの成長の糧となる環境を創出することで、お互いが切磋琢磨し組織に所属するメンバーとして、必要な資質の向上に努めます。LOMメンバーとしての素養を身につけなければ、地域の発展を願い貢献する組織として、「真の運動」など出来ないと考えます。次に、組織に求められる必要な責任をメンバーが認識し、積極的に行動に移せるよう注力します。単年度制であるJCとして、自ら与えられた役割や責任を的確に遂行することが出来なければ、組織としての力を十分に発揮することは難しいと考えます。また、上越JCが地域に向けて運動を展開して行く一助となるよう、組織の更なる拡大を推進します。近年、人材の入れ替わりが激しく、数年で現在LOMに所属するメンバーの半数近くが卒業となります。同時にLOMに所属する年数も減少傾向です。「数は力なり」と考えるのは乱暴な物言いかもしれませんが、LOMの運動をより効果的に継続的に発信するための一つの要素であると考えます。

私たち上越JCメンバーが積極的に組織力を高め、個々の能力を更に追求し、運動を展開することが地域に対して効果的な作用を生み変化を促す事となり、地域で生活する方たちが笑顔で暮らすことの出来る、まさに「明るい豊かな社会」に繋がると確信しています。